

令和4年度
県立高等学校入学者選抜
学力検査問題

国語

注意

- 1 「始め」の合図があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は、表紙を入れて10ページあります。
また、問題は大問【一】から【四】まであります。
- 3 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入しなさい。
- 4 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

【二】 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

藤ヶ丘女子高校二年生の加藤東子(トコ)は、俳句甲子園に出場するため須崎茜ととも
に俳句同好会を立ち上げる。だが東子は、自分には作句の才能がないと感じてマネージャー
になり、五人目の選手枠を最後に入会した井野瑞穂に依頼した。会員たちは全国大会に出
場するも二回戦で敗退し、敗者復活戦で「草笛」の題で句を作ることになり、東子も同好会
の一員として作句に参加する。

「友呼ぶ草笛は耳にやはらかし」

会長の須崎茜が自分の披露を終わらせ、井野瑞穂を見る。打てば響くように瑞穂が続けた。

「草笛は空耳課題はかどらず」

一年生三人の披露は、誰が決めたわけでもないのに順番が一定になっている。桐生夏樹、北条
真名、三田村理香。

今もその順に、テンポよく披露が行われた。

「海遠し青き句ひの草の笛」

「草笛を鳴らせぬ子らの赤き頬」

「草笛や十二音階定まらず」

みんな、自分らしい句を詠んでいる。夏樹は最近「の」の音を重なるのに凝っていたし、真名
は子どもを詠むのが好き、理香はきつと草笛でピアノみたいでエンソウができないことがもどか
しかったのだから。

そんなことを思いながらも、実は、東子は最初の句を読んだ時の、きっぱりとした茜の声が耳
から離れない。

友、か。

顔を上げると五人の目とぶつかる。そうだ、東子は六番目の会員だ。

東子は口を開いた。俳句甲子園への練習が本格的になってきてから、全く作句に参加してこな
かった。自分に才能がないのはすぐに思い知らされたし、東子が作句したら選手、特に瑞穂が気
にしそうだったから。でも、披露するのならこの順番だろう。スタメンではないけど会員であるマ
ネージャー、いや副会長の東子。

「草笛や言葉にまどめられぬもの」

それまでノートに A に書きつけていた瑞穂がはっとしたように顔を上げた。その横
の茜は、一瞬ばかんとしてから、徐々に表情をほころばせる。

魔法のようだ。

友呼ぶ草笛は耳にやはらかし。

草笛や言葉にまどめられぬもの。

茜と句をやり取りしただけで、ほかに何も話していないのに、気持ちが通じ合ったと思えた。

「言葉にまどめられぬもの、ですか」

夏樹がつぶやいたことで、茜も我に返ったようだ。ふっと息をついて会員を順に見ながら口を
開いた。

「どう？ どの句が一番気になった？」

発言を促され、真名が言った。「言葉にまどめられぬもの」。草笛と言葉、その対比を思わせる感じ
が好きです」

東子はどきどきしてきつと顔が赤くなっている。
東子の句を、いいと言ってくれた。創作で評価された。
だが、すぐに理香がこう発言したので、話は次に移った。

「私ね、誰の句かっていうより、草笛に対して結構みんなネガティブだあって、それが印象的だ
った。井野先輩の草笛は本当に聞こえているものじゃないし、私の草笛も音階が不確かで不完全
燃焼な気持ちについての句だし、真名にいたってははっきり「鳴らせぬ」だよ」

夏樹が抗議する。

「仕方ないんじゃない？ だって、みんなのために草笛に挑戦してみただけど、誰一人吹けな
かったんだから」

この一年生トリオは強い。さっきの負けも引きずらない。東子はやつと肩の力が抜けるのを感じ
た。小さく笑ってみる。と、瑞穂と目が合った。穏やかな表情で返してくれる。

「いいじゃない、それも草笛だよ。うまくいかない、あぶなっかしいもの。私たちの草笛の解釈
はそういうことなんだよ。あ、あと会長が珍しく破調で詠んでるのも面白かった。『草笛は耳に
やはらかし』と『友』の取り合わせっていいと思う」

「うん。『友』にはいろんな友があるよね。いろんなことを話してきた、たくさん話してもらっ
てきた、それが『友』との言葉ならばきつとどんな言葉でも結局は耳にやわらかいんじゃないか
って、そういうのも草笛に託したかった」

茜の言葉を聞いているうちに、また胸がどきどきしてきた。茜はずっとみんなの顔を見回
していて東子の方を一度も見ていないが、この言葉も東子に向けられているのではないか。

その東子の動悸は、続けて瑞穂が言ったことでさらにたかまった。

「そうだよ、私たちが覚えていられないほどたくさんしゃべってきてるんだものね」

この人たち。

その時茜の目が東子をまっすぐに見た。
東子は何も言えずに、ただうなずいた。

そう。たくさん話してきた。これからも。時には「言葉にまどめられぬもの」があっても。
「ないんか、でも、思いが強すぎる気がしますけどねえ」

通じ合った気がした空気に水を差したのは夏樹だった。この子はいつもこうやって、ねらって
いるのかまったくの天然なのか、わからない発言をする。

「会長の句、好きですけど、『友』って言葉にすると重い気もします。自分が呼びかけているの
が大事な人なのはわかりきってるわけじゃない。じゃ、わざわざ『友』なんて言わなくて、そ
の辺のニュアンスは伝わるじゃないですか」

瑞穂が手を打った。

「あ、そうか。むしろ『友』をはずした方が、その『大事な人』に広がりが出るか」

「広がりが出るって、たとえば親とかにも？」

「いや、『親』への言葉は耳にやわらかくないなあ」

六人で声を上げて笑う。瑞穂の声が、いつものように生き生きしてきた。

「もつとストレートでいいかもね。言葉にならないでもいいんだよってメッセージも、はっきり
聞かない」って句にしちゃうのはどう？」

「あ、いいかも」

こうなるとすっかりいつものディスカッションの雰囲気だ。

(森谷明子「春や春」による。設問の都合上、一部改変してある。)

(注) ※1 披露：句を披露すること。 ※2 破調：五七五の定型の音数をくずすこと。

問1 二重傍線部a「打てば響く」と似た意味の慣用句
として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ
選び記号で答えなさい。
ア 襟を正す イ 気が引ける
ウ 高をくくる エ 間髪を容れず

問2 二重傍線部bのカタカナは漢字に直し、cの漢字
は読みをひらがなで書きなさい。(丁寧を書くこと)
b エンソウ c 抗議

問3 空欄 A に入る語として最も適当なものを、
次のア～エのうちから一つ選び記号で答えなさい。
ア 一刀両断 イ 一朝一夕
ウ 一心不乱 エ 一触即発

問4 傍線部①「徐々に表情をほころばせる」とあるが、
このときの茜の心情の説明として最も適当なものを、
次のア～エのうちから一つ選び記号で答えなさい。
ア 東子の句を受け止めて、わずかに生じた戸惑い。
イ 東子の句を受け止めて、じわじわと広がる嬉しさ。
ウ 東子の句を受け止めて、不意におとされた驚き。
エ 東子の句を受け止めて、次第に襲ってくる不安。

問5 傍線部②と④の東子の「どきどき」はどのような
気持ちを表現しているか。最も適当なものを、次のア～
エのうちからそれぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。
② ア 創作に対する自分の才能のなさへの恐れ。
イ 久しぶりに人前で俳句を詠む緊張。
ウ 句が評価されることへの後ろめたさ。
エ 自分が好意的に評価された喜び。
④ ア 茜も自分と同じ気持ちかもしれないという期待。
イ 茜が言おうとしていることがわからない不安。
ウ 一年生が遠慮なく意見してくることへのいら立ち。
エ 会員たちの自由で奔放な解釈に対する驚き。

問6 傍線部③「穏やかな表情で返してくれる」とある
が、このとき東子は瑞穂に対してどのような気持ちを
抱いたのか。最も適当なものを、次のア～エのうちか
ら一つ選び記号で答えなさい。
ア 瑞穂が急な話題転換により落胆した東子に気づき、
いつものように笑顔で慰めてくれたと感じた。
イ 瑞穂が自信を取り戻してくれたと感じた。
ウ 瑞穂が一年生のやりとりで緊張がほぐれた東子に
気づき、和んだ気持ちに共感してくれたと感じた。
エ 瑞穂が作句が間に合わないと感じる東子に気づき、
この場を落着かせようとしていると感じた。

問7 次の文章は、本文の内容を説明したものである。
空欄 I・II には最も適当なものを、次の選択肢
のうちからそれぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。
また、空欄 III・IV に当てはまる適当な語句を、
本文中よりそれぞれ七字で抜き出しなさい。

茜の「友呼ぶ」と東子の「草笛や」の句を軸とし
て、登場人物たちが俳句という共通するものを通し
て通じ合うさまが、 I の視点を中心に描か
れている。
夏の季節である「草笛」には、草笛そのものの爽
やかなイメージに、「ネガティブで II なる
の」という解釈を重ねることで、思い通りにいかな
いことに悩み、揺れ動く思春期にいる彼女たち自身
の心理も暗に託されている。
また、自らに向けられたどんな言葉も耳にやわら
かく聞こえるほど、互いに III きたからこそ、
IV 思いをも共有してきたという、彼女たちの
特別な関係性が重ね合わされている。

- 空欄 I ア 茜 イ 瑞穂 ウ 東子
エ 夏樹 オ 真名 カ 理香
空欄 II ア 未完成 イ 無責任
ウ 非常識 エ 不安定

二 次の【文章1】、【文章2】を読んで後の問いに答えなさい。

【文章1】

人間が複雑な自然界を理解するとき、「平均値」はとても便利です。そのため、人間は平均値を大切にします。そして、とにかく平均値と比べたがるのです。平均値を大切にすると、平均値からはずれているものが邪魔になるような気になってしまいます。みんなが平均値に近い値なのに、一つだけ平均値からポツンと離れていると、何だかおかしい感じがします。何より、ポツンと離れた値があることによって、大切な平均値がずれてしまっている可能性もあります。そのため、実験などではあまりに平均値からはずれたものは、取り除いて良いということになっていきます。はずれ者を取り除けば、平均値はより理論的に正しくなります。値の低いはずれ者をなかつたことにすれば、平均値は上がるかもしれません。こうしてときに「平均値」という、自然界には存在しない虚ろな存在のために、はずれ者は取り除かれてしまうのです。しかし、実際の自然界には「平均値」はありません。「ふつう」もありません。あるのは、さまざまなものが存在している「多様性」です。生物はバラバラであろうとします。そして、はずれ者に見えるような平均値から遠く離れた個体をわざわざ生み出し続けるのです。どうしてでしょうか。自然界には、正解がありません。ですから、生物はたくさんさんの解答を作り続けます。それが、**I** を生み続けるということです。条件によっては、人間から見るとはずれ者に見えるものが、優れた能力を発揮するかもしれません。かつて、それまで経験したことがないような大きな環境の変化に直面したとき、その環境に適応したのは、平均値から大きく離れたはずれ者でした。そして、やがては、「はずれ者」と呼ばれた個体が、標準になっていきます。そして、そのはずれ者がつくり出した集団の中から、さらにはずれた者が、新たな環境へと適応していきます。こうなると古い時代の平均とはまったく違った存在となります。じつは生物の進化は、こうして起こってきたと考えられています。

進化というのは、長い歴史の中で起こることなので、残念ながら、私たちは進化を観察することはできません。しかし、「はずれ者」が進化をつくっていると思わせる例は見られます。

たとえば、オオシモフリエダシヤクという白いガは、白い木の幹に止まって身を隠します。が、ときどき黒色のガが現れます。黒色のガははずれ者です。ところが、街に工場が作られ、工場の煙突から出るススによって、木の幹が真っ黒になると、目立たない黒いガだけが、鳥に食べられることなく生き残りました。そして、黒いガのグループができていったのです。
(中略)

人間が作り出した「ものさし」も大切ですが、本当は、その「ものさし」以外にも、たくさん価値があるということを忘れないことが大切なのです。

II、「違い」を大切にしてください。この「ものさし」で測ることになっている大人たちは、皆さんにこう言う方もありません。「どうしてみんなと同じようにできないの？」管理をするときには、揃っている方が楽です。バラバラだと管理できません。そのため、大人たちは子どもたちが揃ってほしいと思うのです。しかし本当は、同じようにできないことが、大切な「違い」なのです。

【文章2】

じつは、知能を発達させてきたのは、私たちホモ・サピエンスだけではありません。人類の進化を遡ると、ホモ・サピエンス以外の人類も出現していました。ホモ・サピエンスのライバルとなつたのがホモ・ネアンデルタール人の学名を持つネアンデルタール人です。ネアンデルタール人は、ホモ・サピエンスよりも大きくて、がっしりとした体を持っていました。**A** さらに、ホモ・サピエンスよりも優れた知能を発達させていたと考えられています。ホモ・サピエンスは、ネアンデルタール人と比べると体も小さく力も弱い存在でした。脳の容量もネアンデルタール人よりも小さく、知能でも劣っていたのです。**B** 私たちホモ・サピエンスはどうして生き残ることができたのでしょうか。そして、どうしてネアンデルタール人は滅んでしまったのでしょうか。ホモ・サピエンスは弱い存在でした。力が弱かったホモ・サピエンスは、「助け合う」という能力を発達させました。**C** そして、足りない能力を互いに補い合いながら暮らしていたのです。そうしなければ、生きていけなかったのです。
(中略)

一方、優れた能力を持つネアンデルタール人は、集団生活をしなくても生きていくことができず、しかし、環境の変化が起こったとき、仲間と助け合うことのできなかつたネアンデルタール人は、その困難を乗り越えることができなかつたと考えられているのです。**D**

【資料】(生徒による【文章1】と【文章2】の具体例の整理)
設問の都合上、一部改変してある。

【文章1】	白色のガ(オオシモフリエダシヤク) ○白い木の幹に止まって身を隠す。	黒色のガ(オオシモフリエダシヤク) ○ススで真っ黒になった幹では目立たず、鳥に食べられなかつた。
【文章2】	ネアンデルタール人 ○ホモ・サピエンスより ・大きくて、がっしりとした体 ・優れた知能を発達させていた ○集団生活をしなくても生きていくことができた。	ホモ・サピエンス ○ネアンデルタール人より ・体も小さく、力も弱い ・知能でも劣っていた III ことができた。

環境の変化による困難を乗り越えることができた。

問1 【文章1】の二重傍線部a「とにかく」について、次の問いに答えなさい。

- (1)「とにかく」の品詞名を、次のア〜エのうちから一つ選び記号で答えなさい。
- ア 名詞
 - イ 副詞
 - ウ 形容詞
 - エ 助動詞

問2 【文章1】の二重傍線部b「進化」の対義語を漢字二文字で書きなさい。

問3 【文章1】の空欄 **I** に入る語句を本文中より三字で抜き出しなさい。

問4 【文章1】の空欄 **II** に当てはまる接続表現として最も適当なものを、次のア〜エのうちから一つ選び記号で答えなさい。

- ア あるいは
- イ しかし
- ウ つまり
- エ して

問5 【文章1】の傍線部「生物の進化は、こうして起こってきたと考えられています」とあるが、その説明として最も適当なものを、次のア〜エのうちから一つ選び記号で答えなさい。

- ア 大きな環境の変化に直面したとき、自然界に存在する平均値に近い値の存在がその環境に適応し、やがて標準となった。
- イ 大きな環境の変化に直面したとき、自然界には存在しない虚ろな存在がその環境に適応し、やがて標準となった。
- ウ 大きな環境の変化に直面したとき、優れた能力を発揮するものだけがその環境に適応し、やがて標準となった。
- エ 大きな環境の変化に直面したとき、平均値から大きく離れたはずれ者がその環境に適応し、やがて標準となった。

問6 次の一文は【文章2】の **A**、**D** のどこに入るか。最も適当な箇所を、**A**、**D** のうちから一つ選び記号で答えなさい。

しかし今、生き残っているのは、ホモ・サピエンスです。

問7 【資料】は、生徒が【文章1】と【文章2】の具体例を整理したものである。空欄 **III** に当てはまる語句を本文中より七字で抜き出しなさい。

問8 次のA〜Dは、【文章1】と【文章2】を学習した生徒によるまとめの発言の一部である。本文の内容を踏まえた発言として最も適当なものを、次のA〜Dのうちから一つ選び記号で答えなさい。

- A 現代の私たちの社会においても、お互いの個性を尊重し違いを大切にすることが、AI化などが進む社会の今後の大きな変化への適応にもつながるんだね。
- B 現代の私たちの社会においても、みんなと同じようにできる力をしっかり磨いていくことが、社会のAI化など今後の大きな変化に備え、助け合うために必要なんだね。
- C 現代の私たちの社会においても、常識やこれまでの価値観をあえて遠ざけてははずれ者になることが、社会のAI化など今後の大きな変化への適応にもつながるんだね。
- D 現代の私たちの社会においても、ネアンデルタール人のように体力と知能を維持していくことが、社会のAI化など今後の大きな変化に備え、助け合うために必要なんだね。

【三】 次の【文章1】、【文章2】、【資料】を読んで後の問いに答えなさい。

【文章1】

浦島太郎は亀を助けたお礼に竜宮城に招かれ、しばらく過したのち、別れの時を迎えた。故郷へ帰ると、そこは荒れ果てた野原と化していた。おみやげに亀がくれた箱を開けたところ、たちまちに年をとって変わり果てた姿になってしまった。

さて、浦島は鶴になりて、虚空に飛び上がりける。そもそも、この浦島が年を、亀が

はからひととして、箱の中にたたみ入れにけり。さてこそ、七百年の齢を保ちける。あけて

見るなどありしを、あけにけるこそよしなけれ。

君に逢ふ夜は浦島が玉手箱あけて悔しきわが涙かな

と、歌にも詠まれてこそ候へ。生あるもの、いづれも情を知らぬといふことなし。

人間の身として恩を見て恩を知らぬは、木石にたとへたり。情深き夫婦は二世の契りと申すが、

まことにありがたきことどもかな。浦島は鶴になり、蓬萊の山にあひをなす。亀は、甲に

三世きのいわぬをそなへ、万代を経しとなり。さてこそめでたきためしにも、鶴亀をこそ

申し候へ。ただ人には情あれ、情のある人は、行く末めでたきよし申し伝へたり。

【御伽草子集】による。設問の都合上、一部改変してある。

【注】※1 二世の契り…来世まで続く夫婦のかたい縁や結びつき。

※2 蓬萊の山…伝説上の理想郷。仙人が住む山。

【文章2】

(漢文の書き下し文)

孟子曰はく、「仁は人の心なり。義は人の路なり。孟子が言うには、本来の心である。従つべき正しい道である。

其の II を捨てて由らず、其の心を放ちて求むるを知らず。

哀しいかな。人鶏犬の放るる有らば、則ち 知求之。

放心有りて求むるを知らず。学問の道は他無し。其の放心を求むるのみ。」と。

【孟子】による。設問の都合上、一部改変してある。

【注】※1 孟子…中国の思想家。

【資料】

「情」とは人に対する思いやりや愛情のことである。「論語」で孔子のとなえた「仁」とは、広く「愛」をさしている。それを発展させたのが孟子であり、人が生まれながらにして持っている愛情ややさしさを含む。【文章1】に出てきた「情」も、【文章2】の「仁」も人間にはなくてはならない感情である。

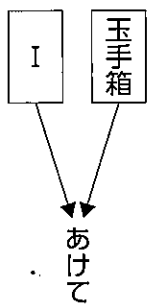
「人、木石にあらざれば、みな情あり」源氏物語

「巧言令色、鮮な仁」うまいことをいい、表面上愛想のいい人は、愛が少ない。「論語」

など、「情」や「仁」を大事にしなから生きていく必要があると説いた古典のその教えは、現代に生きるわれわれにも多くの示唆を与えてくれるものである。

問1 【文章1】二重傍線部「はからひと」を、現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

問2 【文章1】のAの和歌には「掛詞」の技法が使われている。それを表した次の図の空欄Iに入る語を、【文章1】の本文中より漢字一字で抜き出さなさい。



問3 【文章1】傍線部①「生あるもの、いづれも情を知らぬといふことなし」とあるが、「恩」や「情」がないことを具体的にたとえた表現を【文章1】の本文中より二字で抜き出さなさい。

問4 【文章1】傍線部②「ありがたきこと」について、その具体的な内容として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び記号で答えなさい。

- ア 情の深い夫婦とはめったにないことである。イ 箱を開けるとは思いもよらないことである。ウ 蓬萊の山があるのはこの上ないことである。エ 人間の身上として喜びは限りないことである。

問5 【文章2】空欄IIに入る語句を、次のア～エのうちから一つ選び記号で答えなさい。

- ア 学問 イ 鶏犬 ウ 路 エ 人

問6 【文章2】傍線部③「知求之」を書き下し文に直しなさい。

問7 【文章2】傍線部④「其の放心を求むるのみ」とは具体的に何を求めるのか。【文章2】の本文中より漢字一字で抜き出さなさい。

問8 【文章2】を通して孟子が伝えたかったことは何か。最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び記号で答えなさい。

- ア 人が学問をするのは、本来の心を取り戻すためである。イ 人が学問をするのは、本来の心を軽視しているためである。ウ 人が学問をするのは、逃げた鶏や犬を捜すためである。エ 人が学問をするのは、正しい道を踏みはずさないためである。

問9 【資料】を参考に、【文章1】と【文章2】から読み取れることとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び記号で答えなさい。

- ア 【文章1】によると「情」とは、必ず約束を守ることである。イ 【文章1】によると「情」とは、広く万人を愛することである。ウ 【文章2】によると「仁」とは、揺るがぬ信念を持つことである。エ 【文章2】によると「仁」とは、元々持っている愛のことである。

【四】 奈歩さんのクラスは、総合的な学習の時間に「台風時のハザードマップ」を作成することになった。次の場面は、それぞれのグループで話し合ったものを全体に報告しているところである。これを読んで後の問いに答えなさい。

司会 「それでは各グループの発表を始めます。Aグループ代表の奈歩さんお願いします。」
 奈歩 「私たちのグループは、イラストや図などを多く載せたマップがいいと思います。なぜなら、小さい子どもや高齢者にとって、細かい字の説明や地図だけではわかりにくいからです。オリンピックでも話題になったピクトグラムは、ぱっと見ただけでわかる方がいいと思うので、ぜひ取り入れていきたいです。色もたくさん使って、カラフルで目につきやすいと思います。」

司会 「ありがとうございます。ピクトグラムといえば、案内標識などをイラストで表したものです。それなら年齢や国籍も関係なく、情報や注意が伝わりやすいです。次に、Bグループの発表です。代表の博明さん、お願いします。」

博明 「私たちは、日本語も英語も十分に理解できない外国人の方が、災害発生時に適切な行動をとれるように考え出された『やさしい日本語』を使ったハザードマップを提案します。以前、外国人観光客が台風時に情報を得られなくて困ったというニュースを聞いたことがあるからです。『やさしい日本語』は子どもや高齢者、障がい者の方などにとっても、分かりやすいコミュニケーション手段の一つなので、これをもとに作成していくと思います。」

司会 「なるほど。たしかに、外国人の方にとって日本語は漢字もひらがなも混じっているぶん、難しいですね。『やさしい日本語』というのは初めて耳にしましたが、こちらを使うと多くの人に情報が伝わりやすくなりそうですね。続いてはCグループの発表です。代表の直太朗さん、どうぞ。」

直太朗 「私たちはマップ以外に、台風時に必要なことや注意すべきことなどの情報を一覧表として作成することを考えました。避難場所や危険区域を示すことはもちろん大事ですが、台風の大さき、風や雨の強さの目安や停電に備えて準備すべきことなどの説明があると、もしものことがあったとき避難の目安になり、対処しやすいと思ったからです。」

司会 「ありがとうございます。前の二グループとは違った視点からの意見ですが、風や雨の強さがどんな状態になったら避難すべきかなどの目安があると、とても便利です。それでは全体の話し合いに移ります。」

問1 この報告会における司会の役割として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び記号で答えなさい。
 ア 自分の感想を交えつつ、発表の要点をまとめる役割。
 イ それぞれの話題を元に話し、議論の流れを修正する役割。
 ウ それぞれの意見に同調しつつ、矛盾点を指摘する役割。
 エ 自分の感想を述べることが控え、進行に徹する役割。

問2 【資料1】は、各グループから出た意見をまとめた板書メモである。空欄 X に当てはまるものとして最も適当な語句を、本文中より六字で抜き出しなさい。

問3 報告会の後、それぞれの発表をもとにさらに全体で話し合い、ハザードマップを両面で作成することにした。【資料2】は、ハザードマップに載せる項目について話し合った内容をまとめたものである。次の項目は空欄 A・I のどちらに入れたらよいか、記号で答えなさい。

緊急時の連絡先

問4 博明さんは次の文を「やさしい日本語」で書き換えたところ、傍線部を先生に指摘された。次の問いに答えなさい。

「暴風警報 飛来物に警戒を。」

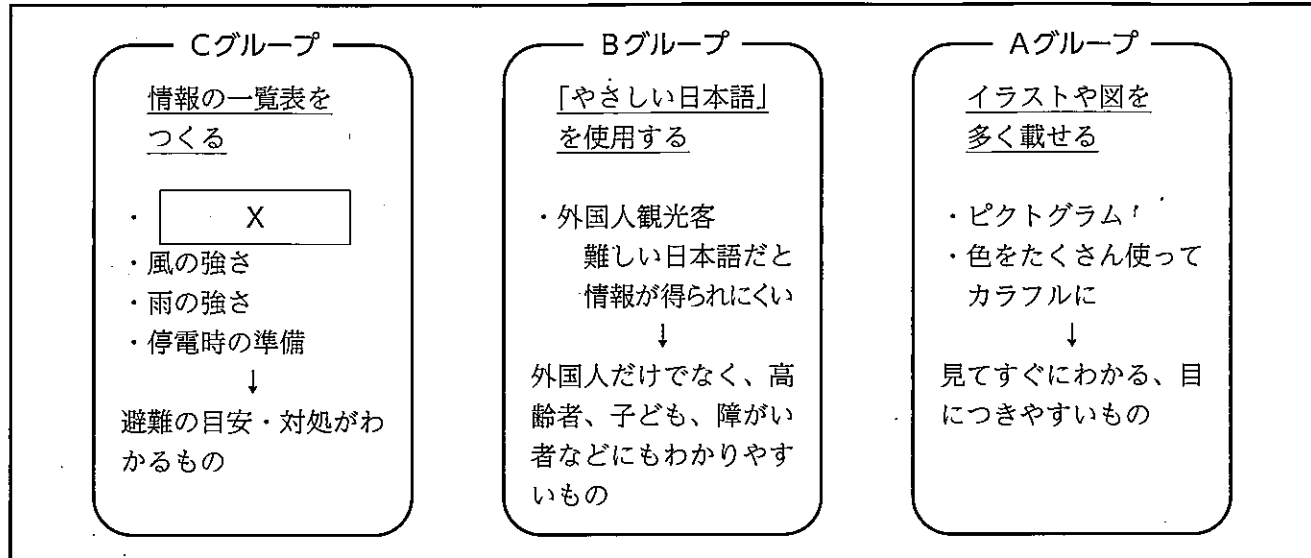
書き換えた文

「とても強い風がふきます。飛んでくる物に警戒してください。」

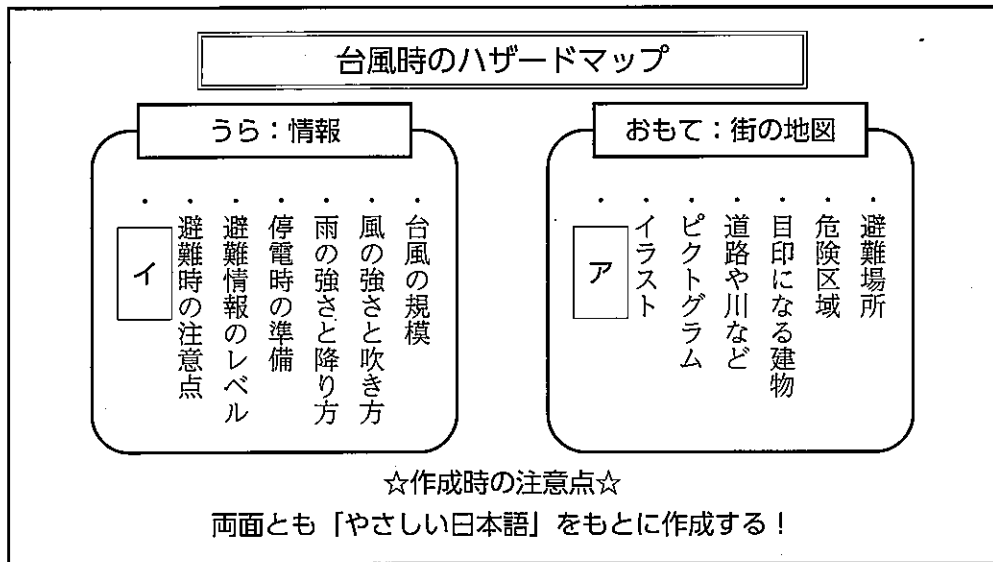
(1) 傍線部を指摘された理由として最も適当なものを、【資料3】の①～⑥のうちから一つ選び記号で答えなさい。

(2) 【資料3】を踏まえて、傍線部を書き直しなさい。

【資料1】板書メモ



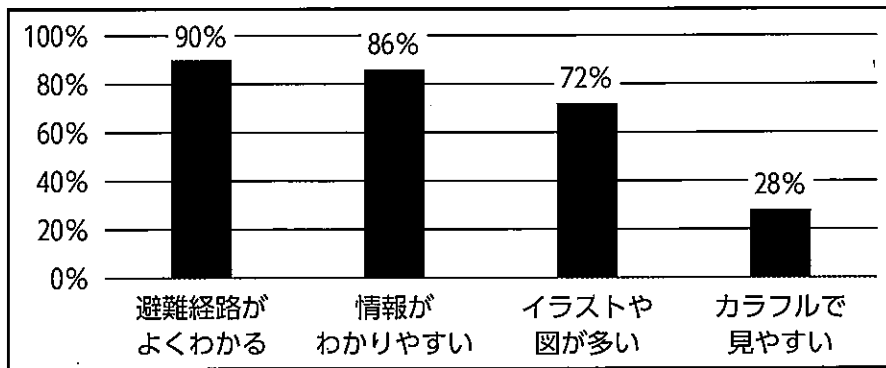
【資料2】全体の話し合いのまとめ



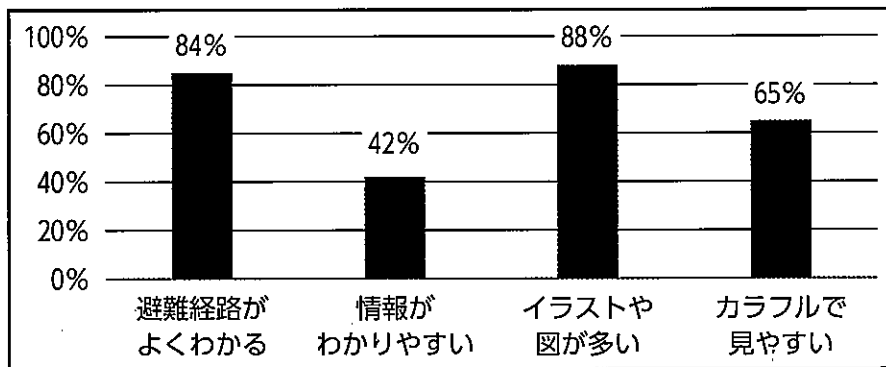
【資料3】「やさしい日本語」の作り方

- ① 一つの文を短くし、簡単な構造にする。
- ② 外来語、略語は使わない。
- ③ 難しい言葉は、簡単な言葉に言い換える。
- ④ あいまいな表現は使わない。
- ⑤ 文末は統一する。
- ⑥ 漢字にはふりがなをつける。

【資料4】高齢者へのアンケート
「ハザードマップの良かった点」(複数回答)



【資料5】外国人観光客へのアンケート
「ハザードマップの良かった点」(複数回答)



問5 奈歩さんたちはハザードマップ作成後、地域の高齢者とホテルに滞在している外国人観光客に協力してもらい、それぞれからアンケートをとった。【資料4】は高齢者へのアンケート結果の一部、【資料5】は外国人観光客へのアンケート結果の一部である。二つの資料を関連させて読み取れることを、六〇字以上八〇字以内で書きなさい。

※左下の【注意点】を参考にして答えること。

問6 「ハザードマップ」以外で、ユニバーサルデザインが必要だと思う場面に、次の〈条件〉に従って文章を書きなさい。後の【資料6】を参考にしてもよい。

※左の【注意点】を参考にして答えること。

〈条件1〉 ①必要だと思う場面、②その理由、③具体的な事例や手立ての

三点について書くこと。

〈条件2〉 一四〇字以上一六〇字以内の文章にすること。

【資料6】ユニバーサルデザインの考え方

ユニバーサルデザインとは、あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

(内閣府「障害者基本計画」より作成)

【注意点】

解答する際、次のことに注意すること。

- ・「マス目から書き始め、改行はせずに書くこと。
- ・漢字や仮名遣い、句読点や記号などは適切に用いること。
- ・句読点も一字とする。
- ・数字や記号を使う場合は、左の(例)のように書いてもよい。

(例)

令和4年度

9月

20パーセント

20%

令和四年度 国語 正答例

問8	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1		問7				問6	問5		問4	問3	問2		問1	配点	
A	仲 間 と 助 け 合 う	B	エ	ウ	多 様 性	退 化	(2)	(1)	IV	III	II	I	ウ	④	②	イ	ウ	c	b	エ		
							イ	イ	な	言	し	た	エ	ア	エ			こ う ぎ	演 奏			
									い	葉	て	く										
										に		さ										
										な		ん										
										ら		話										
2	2	2	2	1	2	1	1	1	2	2	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	

問6	問5	問4		問3	問2	問1	問9	問8	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1	配点
作文の採点基準については割愛	作文の採点基準については割愛	(2)	(1)	イ	台 風 の 大 き さ	ア	エ	ア	仁	之を求むるを知る。	ウ	ア	木石	夜	はからい	
		気をつけて	③													
6	4	2	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1	2	2	1	